

1. 略歴

1991 年 3 月	東京大学文学部東洋史学専修課程卒業
1993 年 3 月	東京大学大学院人文科学研究科（東洋史学）修士課程修了
1995 年 3 月	東京大学大学院人文科学研究科（東洋史学）博士課程中退
1995 年 4 月	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助手
1999 年 4 月	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所情報資源利用研究センター助手 [2000 年 5 月に、東京大学より博士（文学）の学位を取得]
2001 年 4 月	東京大学大学院人文社会系研究科助教授
2007 年 4 月	東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野 b 研究課題

主な研究課題は、近代中国における政治体制の模索、都市政治、経済建設、ナショナリズム、日中関係史。最近では、近代中国における歴史学の形成と日本の「東洋史学」の交流の考察にも関心がある。

c 概要と自己評価

中国近代における政治体制、中国沿海部と内陸部の経済的関係、知識人の国際関係認識など、複数の研究課題を並行して進めている。それらの成果の一部は論文にまとめて発表することができたが、それぞれのテーマに即した著作としてまとめていく作業も進行中である。また、科学研究費基盤(C)「20 世紀初頭の中国における軍制の変遷と政治統合」にも取り組んでいる。

d 主要業績

(1) 論文

吉澤誠一郎、「白鳥庫吉の東洋史学——史学史的考察として」、渡邊義浩編『中国史学の方法論』汲古書院、2017.5

吉澤誠一郎、「中華民国初期における大總統就任式典」、『東洋史研究』76 巻 1 号、2017.6

吉澤誠一郎、「義和団をめぐる記憶と中国ナショナリズムの位相」、川田順造編『ナショナル・アイデンティティを問い直す』山川出版社、2017.10

吉澤誠一郎、「民国初年の対日ボイコットにおける東南アジア華僑と孫文」、日本孫文研究会編『孫文とアジア太平洋——ネーションを越えて』汲古書院、2017.11

(2) 学会発表

国際、吉澤誠一郎、「白鳥庫吉の東洋史学——史学史的考察として——」、第 8 回日中学者中国古代史論壇、日本教育会館、2016.5.20

国際、吉澤誠一郎、「武士道の近代命運：晚清中國的尚武理念與性別重構」、第 5 届「漢化・胡化・洋化」：傳統社會的挑戰與回應國際學術研討會、國立中正大學(台灣嘉義縣民雄鄉)、2016.11.5

国際、吉澤誠一郎、「民国初年の対日ボイコットにおける東南アジア華僑と孫文」、孫文生誕 150 周年記念国際學術シンポジウム、神戸大学統合研究拠点、2016.11.27

国内、吉澤誠一郎、「辛亥革命にみる軍人の忠誠と反逆」、第 67 回日本西洋史学会小シンポジウム「忠誠のゆくえ——近代移行期における軍事的エトスの比較史」、一橋大学、2017.5.22

国内、吉澤誠一郎、「「文人」瞿秋白の革命ロシア体験」、史学会第 115 回大会シンポジウム「ロシア革命と 20 世紀」、東京大学、2017.11.11

3. 主な社会活動

(1) 学会等の委員

国内、日本学術会議、連携会員（2014 年 10 月～現在）

国内、東洋文庫、兼任研究員（2009 年 4 月～現在）

国内、中国社会文化学会、理事（2001 年 7 月～現在）

国内、東方学会、学術委員（2013 年 6 月～現在）

国内、東洋史研究会、評議員（2008 年 11 月～現在）

国内、史学研究会、評議員（2013 年 6 月～現在）

(2) 非常勤など

放送大学客員准教授 (2013 年 4 月～現在)